

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	原 和嘉
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3428
事務事業名	9953 産業連携事業											
所 属	150200 産業振興部・産業連携開発課											
施 策	15022300 既存産業の高度化・高付加価値化の促進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費										
	事業	040000 産業連携事業										
事業目的						事業概要・効果						
産業の連携により意欲のある企業の研究開発や販路拡大などの支援を積極的に行うことにより、産業の活性化を図り、併せて産学官・産学・産産・産学官金の連携による新産業の創出を図る。						須坂市の産業構造を自律発展型産業構造へと変換していくため、産業コーディネート・アドバイス事業を実施し、意欲のある企業への積極的な支援により、産学官金連携による新産業創出や研究開発の推進、提案公募型の研究開発事業の導入と既存補助制度を活用した支援を行なった。 平成28年度は「ものづくり補助金」などの申請書作成支援を9件行い、4件が採択されるなどの成果が出てきている。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
産業CO, ADによる設備導入、技術開発のための「ものづくり補助金」の導入支援を行う。須坂創成高校デュアルシステム協力企業と連携し、就業体験、企業実習の受入支援を行う。	産業CO, ADによる設備導入、技術開発のための「ものづくり補助金」「事業再構築補助金」の導入支援を行う。須坂創成高校デュアルシステム協力企業と連携し、就業体験、企業実習の受入支援を行う。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	提案公募型事業の導入件数					
算式	国、県等の提案公募型事業の導入件数				単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	3	3	3	3	
	実績					
指標選定の理由	地域活性化、企業の技術開発のための開発資金を国、県などの提案公募型事業、競争的資金などの外部資金を有効的に活用することにより産業の活性化および企業の技術開発支援を行う。					
最終年度目標の根拠	経済産業省、農林水産省の提案公募型事業の採択件数および企業向け技術開発等補助金「革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」等の申請書作成支援を行った結果の採択件数。					
指標名	企業及び次世代技術者向け人材育成講座の企画・開催					
算式	講座開催回数				単位	回
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標	8	8	8	8	
	実績					
指標選定の理由	企業の競争力向上のため、技術者、技能者の基礎知識、応用力を高めるための専門的技術、理論に関する講座を企画・開催する。一方で次世代技術者、小中学生向けものづくりに関する講座の企画・開催も行う。					
最終年度目標の根拠	企業ニーズに合った講座開催により、企業の競争力向上に寄与する。産業の活性化、高度化に向けて継続した支援するため。					
指標名						
算式					単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		15,389	20,334
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	4,115	5,445
一般財源		11,274	14,889
人員数 (人)	正規職員	1.6	1.0
	嘱託職員	0.8	1.4
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	11,148.8	6,968.0
	嘱託職員	2,519.2	4,408.6
	臨時職員	0.0	0.0
	計	13,668.0	11,376.6
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		29,057.0	31,710.6

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	31	消耗品費31
12節 委託費	49	メーリングシステム保守管理39 専門家派遣事業委託費10
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,112	新技術・新製品開発事業1,000 研究開発等特許化支援112
その他	14,197	産業コーディネータ、アドバイザー報酬7,440、会計年度任用職員報酬1,946、旅費26

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	80	講師謝礼80
10節 需用費	45	消耗品費45
12節 委託費	477	専門家派遣事業委託料30、地域研究開発促進支援事業委託料400、マーキングシステム保守管理委託料47
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3,958	産業フェアin信州平実行委員会金1,448、新技術・新製品開発事業補助金2,000、研究開発等特許支援事業 他
その他	15,774	産業コーディネータ、アドバイザー報酬7,440 会計年度任用職員報酬1,993 旅費502 農商工観共創支援貸付金5,000 他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	産業CO、ADによる事業者への積極的な支援により、各種補助金等の確保につなげ、各事業者の収益増、新技術の確保等につなげることは、須坂市における新たな産業の創出、既存産業の高度化等にもつながるため、施策の目的と合致するものであると考える	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	あまり有効ではない
評価コメント	昨年来のコロナ禍に伴い、事業者等への支援も（工場等に伺うなど）難しい状況となった。しかしながら、オンラインでの相談、商談会等を通じ、新しい支援の仕方を試行錯誤しながら実施している。今後は、ニュースタンダードとして、事業者と支援する新しい形を構築していく必要がある。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	引き続きコストを意識しながら成果を出すよう努めていく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

令和2年度は、コロナ禍もあり、予定通り事業を実施することが困難な一年であった。そんな中、新しい支援の仕方等を試行しながら事業を行ってきた。今後もオンラインの活用等を実施しながら、事業者等と支援していきたい。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>積極的な企業支援を行い、アフターコロナを見据えた収益力アップを図る。 須坂創成高校デュアルシステム協力企業会と連携し、次世代産業人材の確保に努める。</p>		<p>産業コーディネータ、産業アドバイザーによる国の企業向け補助金の申請支援等により、各種補助金を確保し、企業の収益増や新技術の開発支援に繋げる。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	